



# ~こどもたちに大人気!~ 男性保育士による座談会

**ま** だまだ女性社会である保育の場で、最近姿を見かけるようになってきた男性保育士（平成24年4月1日現在、足利市には8名の男性保育士がいます）。今回、市内4カ所の保育園から6名の男性保育士の方にお集まりいただき、普段職場で感じていることなど、語っていただきました。

## なぜ保育士になったの？

**編集委員（以下、編）** 女性の仕事と比べ、最近保育士を目指した理由、動機などをお聞かせください。

**男性保育士（以下、男）** 女性の職場に入る苦手意識はありませんでした。子どもと関わるのは楽しそうだなと思っていました。ちょっとした子どもの成長に携わることができて幸せです。

**男** もともと子どもが好きで、子どもに関わることのできる仕事がしたいと思っていました。学校の先生の勧めが決め手でした。

**男** 幼いころから子どもの面倒を見るのが好きでした。自分は未っ子ですが、近所の年下の子と関わるのが楽しかったです。保育士を目指したのは、面倒を見ながら、成長を見守っていきたいという思いからです。

**男** 幼少期の思い出から、こんな先生と出会っていたらと思いつく先生像を指しています。子どもにとって家から出かけた保育園が、楽しいところであ

るよう心がけています。

**男** 私の母も保育士です。母の働く保育園で育ちました。母の背中を見ていて保育士を志しました。子どもの成長を子どもとともに喜び合いたいです。

**男** 高校生の時、ボランティア活動で保育園に行きました。子どもにまったく興味はなかったのですが、実際に子どもと3日間関わり、今まで持ったことのない感情が湧いてくるのを感じました。純粋な子どもの心に感動し、自分からさらに2日間、ボランティア期間を延ばしてもらいました。思春期真っ只中のやさぐれていた心が、洗われたような気持ちになりました。

**編** みなさん、子どもが大好きで保育士になられたようですね。

**アドバイザー・大川真さん（以下、大川）** 仕事に対する思いがしっかりしていますね。私の場合、運命に導かれて保育に関わるようになりました。当時は男性が本場に珍しく、研修会などの集まりの場に出ても保育関係者に見てもらえませんでした。

## 男性でよかったこと 男性であることの悩み

**編** 多数の女性の中で、少数の男性でよかったところは？

**男** 子どもに早く名前を覚えてもらえるところでしょうか。

**男** 子どもたちがいっぱい寄ってきてく

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

○インタビュー 6月17日（月）  
市民プラザにて

参加保育士

- 稲葉 悠さん（26）（両野保育園）
- 今川智幾さん（25）（両野保育園）
- 川澄晃之さん（35）（両野保育園）
- 岩脇俊輔さん（26）（常念寺保育園）
- 岩本健一さん（31）（ポッポ保育園）
- 安田 瞬さん（23）（しんまち保育園）
- アドバイザー  
大川 真さん（小保幼児生活団園長）  
かけはし編集委員



（後列左から）稲葉さん、今川さん、川澄さん  
（前列左から）岩脇さん、岩本さん、安田さん

れます。

**編** 男性であることの悩み、不安などはありますか？

**男** 今のところ、悩みはありません。男性保育士が1人だったらあるかもしれないけど、仲間がいますから。

**男** 女性の社会で本当の自分を出せないでいます。

**男** 目立つことですね。良い意味でならいいけど、子どもたちはもちろん、保護者に受け入れてもらえるには時間が必要だと感じています。

**男** 母子家庭が多くなっている中、男性が苦手なお子さんもいます。自分とは口を聞いてくれないのに、女性保育士なら大丈夫なところに、淋しさを感じました。

**男** 男性同士だったら話せる、共感してもらえるところがあるのですが・・・。

**男** 保育士3年目になりますが、男性保育士と働いたことがありません。仲間がいる職場が羨ましいです。男性同士の相談ができる人がいないのが悩みですね。

**編** 男女の役割の違いはありますか？

**男** 基本的には変わりありませんが、プールの組み立てなどの力仕事や、虫の駆除などは頼られてしましますね。

**男** 同じく、仕事内容の男女分けはありませんが、テントの設営などは頼まれます。

**男** 力仕事は、自分がやらなくてはと思

っています。

## 男性保育士の意義

**編** 待遇についてはいかがですか？

**男** 男女平等といっても、現在の待遇で続けていくには苦しいところがあります。

**編** 公立の保育所は一律ですが、民間の保育園はごつなものでしょうか？

**大川** 園それぞれに規定があり、運営費の配分が決まっています。資金不足から施設の増強ができないなど厳しい状況にあります。職員同様、経営者も苦しい状況です。しかし、社会全体に男性保育士という職が定着していけば、良くなる傾向になると思います。12〜13時間保育の中、養護と教育が一体となっていて、そこに若男女が関わることが、幼い子どもには重要なことだと思っています。男性保育士の存在の意義を感じます。

## これからの夢

**編** これから保育士を続けていくにあたって夢や希望、要望などはありますか？

**男** 卒園児のランドセル姿を見られまして、中学生になった姿も見てみたいです。いずれは、自分で園を創って園長先生になりたいです。

**男** 男性も子育てができるんだということこそをみせたいです。自分たちがそのスタートであると思っています。男性

が育児に参加することのメリットをアピールしたいです。

**男** 保育士1年目なので、早く自分の保育スタイルというものを、みつけたいです。母と一緒に保育園を創りたいね。」と話しています。

**男** 男性で子育てを頑張りたい人や子育ての関わり方に悩んでいる人のヒントになりたいです。人間として、一番成長著しい段階をお父さんたちに関わってもらえれば、親も子も豊かになれると思います。

## チーム男性保育士！

**編** もう一言、これだけは言っておきたいことはありますか？

**男** ひとりで心細いという意見がありましたが、悩みがあったらいつでも声をかけてください。保育園は違って男性保育士同士、共感できることも多いはず。遠慮せず相談してください！

**大川** このような男性保育士の対話の機会を県レベルで持ちたいですね。保育園は、社会に与える影響が大きい。良い影響を与えられる立場であります。ジェンダー、いろいろな役割を持つて保育園の中で成熟した社会を形成するのが理想的です。良い形のあり方であってほしい。「老若男女」がキーポイントです。

**編** 男性職員がどんどん増えて、働きやすい職場になっていけばいいですね。